

◆ 理事会報告

第7回 / 平成28年1月16日(土)

I 報告事項

日本看護協会理事会
滋賀県医療審議会保健医療計画部会

II 審議事項

- 1. 平成28年度重点事業(合同委員会後修正案)について
- 2. 平成28年度教育計画(案)について
- 3. 看護管理者ネットワーク会議・委員会の設置(案)について

III 協議事項

- 1. 事業進捗状況報告
- 2. 平成27年度主要事業進捗状況
- 3. 教育検討委員会中間報告
- 4. 推薦委員会の経過報告
- 5. 日本看護協会会員情報管理の周知について

IV その他

- ①平成28年度日本看護協会会長表彰について
- ②平成28年度看護功績章・看護功労者知事表彰の推薦について
- ③平成28年度滋賀県看護協会会長表彰の推薦について

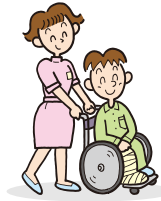
第8回 / 平成28年2月20日(土)

I 報告事項

日本看護協会理事会
日本看護協会政策責任者会議

II 審議事項

- 1. 平成28年度重点事業(案)について



- 2. 滋賀県認定看護管理者委員会設置規程(案)について
- 3. 平成27年度補正予算(案)について

II 協議事項

- 1. 第2回看護トップセミナーの予定について
- 2. 「看護フェア2016」について
- 3. 平成28年度役員等立候補の状況について
- 4. ワークライフバランス事業の推進について
- 5. 日本看護協会会員情報管理の周知について

III その他

看護学校等卒業式参列予定

第9回 / 平成28年3月19日(土)

I 報告事項

日本看護協会理事会

II 決議事項

- 1. 平成28年度主要事業計画(定款に基づく)(案)
- 2. 職能委員会・地区支部計画(案)について
- 3. 平成28年度通常総会提出議案について
- 4. 平成28年度通常総会プログラム(案)について
- 5. 常勤役員の月額報酬の改正(案)について
- 6. 平成28年度収支予算(案)について
- 7. 役員候補(推薦状況)について
- 8. 事務局長の退任および執行体制について

III 協議事項

- 1. 滋賀県看護協会会長表彰候補について
- 2. 看護功績章および看護功労者知事表彰候補者の推薦について
- 3. 理事会・常務理事会の開催予定(案)

看護学会委員会 「看護研究をやってみよう! 相談会」を開催します!

●日時: 平成28年8月19日(金) 9:30~11:30 ●場所: 看護研修センター ※研究計画書(案)をご持参の上、お気軽にご参加ください。詳細は後日お知らせします。

会員の声

- ▶表紙の写真の雪景色がとっても良かったです! 季節を感じながらよりよい看護をしていきたいです!! (N.A)
- ▶災害支援ナースの取り組みで実際の声がかけてよかったです。(T.M)
- ▶ワークライフバランスワークショップで他の施設の取り組みを興味深く見せてもらうことができました。(S.K)
- ▶表紙のお写真がすてきです。学会に参加できなかったですが多くの方が参加されたんですね。(N.M)
- ▶ナースレークの構成なども工夫されて読みやすいです。(W.A)

あなたも投稿してみませんか

「一番星見つけた!(輝いている人)」「表紙の写真」「会員の声」に投稿していただいた方の中から、『東洋羽毛社のペアクッション』をプレゼントします。ふるって応募ください。詳しくは、ホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック!(次回の発行は平成28年7月予定です。)



《東洋羽毛社のペアクッションプレゼント当選者》
投稿していただいた方の中から、厳正なる抽選の上3名の方に決定しました。守山市N・Aさん、高島市K・Jさん、京都市U・Sさんです。おめでとうございます。

編集後記

春の風が心地よい季節となりました。年度もかわり、みなさまの生活も仕事も気持ち新たにスタートされていることと思います。今後もみなさまのお声を反映できるよう、広報委員にご意見ご感想等をお寄せください。(O.K)



本当の清潔を極めた 羽毛ふとん

デオホワイル加工羽毛を採用したゴア®羽毛ふとんで、さらに清潔で安心の眠りを。

エーデル EDEL TUK 東洋羽毛東海販売株式会社 三重営業所 ☎ 0120-585104 〒514-0003 三重県津市桜橋 3-67-13

Nurse Lake

広報紙「ナースレーク」

Vol.130

2016年4月



一番星★見つけた!



シュリット・カトリヌさん
詳しくは2・3ページへ

CONTENTS

- 一番星見つけた!2・3
- 研修報告3
- 給食等コンテスト「農林水産大臣賞」受賞(彦根市立病院).....4
- 入会・継続手続きの変更について5
- 看護職のワークライフ・バランス推進6
- 看護協会長の「みね日誌」/助産師職能委員会7
- 地区支部だより8
- 医療安全通信/日本看護学会のお知らせ9
- ナースセンターだより10・11
- SHIGA! はたさぼ通信11
- こんにちは!事務局です/会員の声/編集後記12
- プレゼントのお知らせ12

表紙風景写真: 高島市・海津大崎にて(撮影: K.Jさん)

発行所 ●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者 ●会長 石橋美年子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998
http://shiga-kango.jp/



滋賀県看護協会

検索

滋賀県看護協会会員数(平成28年3月10日現在)

保健師/ 323人 助産師/ 257人 合計 7,915人
看護師/ 7,088人 准看護師/ 247人

一番星★
見つけた!

輝く! 外国人ナース

平成20年に発効された経済連携協定に基づき、全国で外国人看護師の受け入れが開始されました。その中で、滋賀県にも外国人看護師として働く仲間が誕生し、済生会滋賀県病院でいきいきと働いておられます。

看護の勉強はもちろん、日本語の習得にもたいへん努力され、難関の国家試験を見事合格されたシュリット・カトリーヌさんをご紹介します。

Q: 日本に来て何年ですか?

A: 4年8か月です。

Q: 日本の生活に慣れましたか?

A: 慣れました。でも日本語が難しいのと、冬の寒さにはまだ慣れません。

Q: 滋賀県に来たきっかけは?

A: フィリピンでの病院選択マッチング時に、済生会滋賀県病院を選びました。済生会滋賀県病院は、総合病院で色々学べるとして選びました。フィリピンは台風が多いので災害が少ない所が希望でした。滋賀県は災害が少ないことと、琵琶湖があり自然が豊かなところが気に入りました。

Q: 日本で看護師として働こうと思った理由は?

A: 治安が良いことと、高い医療技術と日本の看護ケア方法を学びたかったからです。また、TDL(東京ディズニーランド)や、幼いころに映画で見た桜吹雪が綺麗で体験してみたいと思ったからです。

Q: 仕事の中でうれしかった事や印象に残ったことは?

A: 病院スタッフが外国人扱いせず、すぐに仲間として迎え入れてくれたことです。勤務が休みの時、患者さんから「カトリーヌさん今日は居ないの?」と言われてたり、頑張っていると書いてある手紙をもらったり、患者さんからも言葉をかけてもらえたことです。看護補助者の中にフィリピン出身者がいることも心強いです。



透析室スタッフと共に頑張っています(カトリーヌさん前列中央)

Q: 仕事をして辛かったことや大変だったことは?

A: 日本語が難しく、患者さんの訴えが解らず「他の看護師に変わって。」と言われた時はとても申し訳なかったです。

Q: これからどんな看護師になりたいですか?

A: 薬を渡したりフィジカルばかりの看護師ではなく、精神(スピリチュアル)を重視した看護師に、例えば、タッチングや訴えを聞いたりすることを大切にしていきたいです。看護師として成長していくために、出来ることを増やしていきたいと思っています。

Q: 休日の過ごし方、リフレッシュ方法は?

A: 教会に通うことや年に数回フィリピンに帰ることです。スタッフと遊びや食事を一緒にすることもリフレッシュにつながっています。

研修報告

【ラダーⅣ研修】

経験は宝! きらり☆ジェネラリスト

～未来の看護のために～

平成27年12月22日 京都看護大学 学長 豊田久美子先生を講師に招き、ラダーⅣ「経験は宝! きらり☆ジェネラリスト～未来の看護のために～」研修会が開催されました。師長、主任、リーダーなど



豊田久美子先生

58名が参加し、ジェネラリストの位置づけから役割、これからの私について講義を受けました。

従事した領域で質の高い看護サービスを提供するジェネラリスト。スペシャリストとともによりよい看護を提供できることを、金平糖に例えてわかりやすく教えて下さいました。また、ジェネラリストの課せられた大きな使命、『私たちの受け継いだ“看護のバトン”を私たちの後輩にどう託していくか。』沢山の経験で紡いできた“看護師の直観”をバトンにして次につなぐことがジェネラリストの醍醐味であることをお話して下さいました。

午後からは今まで経験してきた看護の中から印象に残っている患者さんとの場面を思い出し、それを通じて自分が何を大事にして看護を続けてきたのか、これから深めていきたい私の看護を導き出し、グループに分かれ発表されました。

レベルⅣの看護職の研修だけあって、自らの経験を積極的に話され活発に意見交換も行われて、さすがジェネラリスト! と看護の先輩のすごさを拝見することができました。豊田先生は仕事の中で感じてきたことだけでなく、自ら経験してきた介護の中からも“看護とは”を教えてくださいました。また、自ら作詞された「看護家の宝」を最後に歌ってくださり、受講生の皆様は心にしみる有意義な一日を過ごせたのではないのでしょうか。



第8回 地産地消給食等メニューコンテスト

「農林水産大臣賞」

— 彦根市立病院 —



昨年11月に彦根市立病院が地産地消給食等メニューコンテストにおいて、最高賞となる「農林水産大臣賞」を受賞されたことを知り、「栄養治療室」管理栄養士の小野さんと大橋さんのもとへ取材に伺いました。



管理栄養士の小野さん(左)・大橋さん(右)



《受賞メニュー(7月)》
滋賀県産ごはん/滋賀県産ピワマスの香草パン粉焼き/近江牛ミンチのそぼろ煮/彦根産きゅうりの酢じょうゆ和え/グランマンジュ(栗東メロンソース)

彦根市立病院では、四季折々の旬の食材で病院食を提供する“地産地消”の取り組みを平成24年から開始されています。

取り組み以前は入院患者さんに提供する食材に冷凍ものが多く、検食でもおいしくないと感じていたそうです。そこで、「安全・安心でおいしい食事を提供したい」という思いから委託業者の変更をきっかけに地元でとれた食材を使うようになりました。

地産地消は患者さんから好評で、アンケートを行い、よりおいしく満足できる病院食を目指しておられます。アンケート以外にも病棟ナースから患者さんの「おいしかった」という声も届いています。今では、「地産地消イベント」として年に4回、全ての料理に地元



広報委員と共に

食材を使用するメニューを提供されています。「栄養課からのお知らせ」のポスターには地産地消だよりと称し、野菜農家を職員が訪ね、野菜についての記事や写真を掲載されています。また、地域の中学生が農園で採れたトウモロコシ・大根・ジャガイモを病院に寄贈されたニュースを載せたり、地域とさらに近い関係を築いておられました。

食事は治療・栄養の補給だけではなく、生きていく上で力になっていくものです。患者さんや職員にとっても誇れる取り組みをされていると思いました。

彦根市立病院栄養治療室のスタッフの皆様、取材にご協力いただきありがとうございました。

ナースレークでは皆様の職場の患者食、職員食堂の自慢のメニュー・職場自慢を募集しています。広報委員が取材に伺わせていただきますのでいつでもご連絡ください。

★広報委員会からのお知らせ

「ナースレーク」では特集ページ「一番星★見つけた!」として、輝いている人や活動などを紹介しています。あなたの施設の特徴的な取り組みや活動、チーム(個人でも可)などをご投稿ください。たくさんの応募をお待ちしています。

また、「表紙写真」や「会員の声」も募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。(トップページ→「委員会からのお知らせ」)

.....▶



《投稿写真》彦根市の夕日 U・Sさん



滋賀県看護協会・
日本看護協会会員の皆さまへ

平成29年度から 入会・継続手続きが変更されます

変更によって会員数の増加、WEB普及に対応できるようになり、利便性があがります。

会員の皆さまへ...

①会員サービスの変更点

- 会員証のリニューアル**
 - ・毎年お送りしていた紙の会員証をプラスチック製にして永年化。
 - ・スマートフォンなどで確認できる電子会員証を導入。
- WEB上に会員1人1人のマイページを開設**
 - ・会員情報を確認でき、住所や勤務先変更などが可能になります。
 - ・将来的には、研修受講履歴等も確認できるようになる予定です。

②会員手続きの変更点

- 会員継続手続きの簡略化**
 - ・毎年ご記入いただいていた継続申請書の提出が不要になります。
- 会費納入に口座振替(自動引落)を導入**
 - ・会員の皆さまの個人口座からの会費の自動引き落としが可能に。
 - ・これまで同様、現金での施設ごとのとりまとめも可能です。

施設代表者の皆さまへ...

①施設でのとりまとめについて

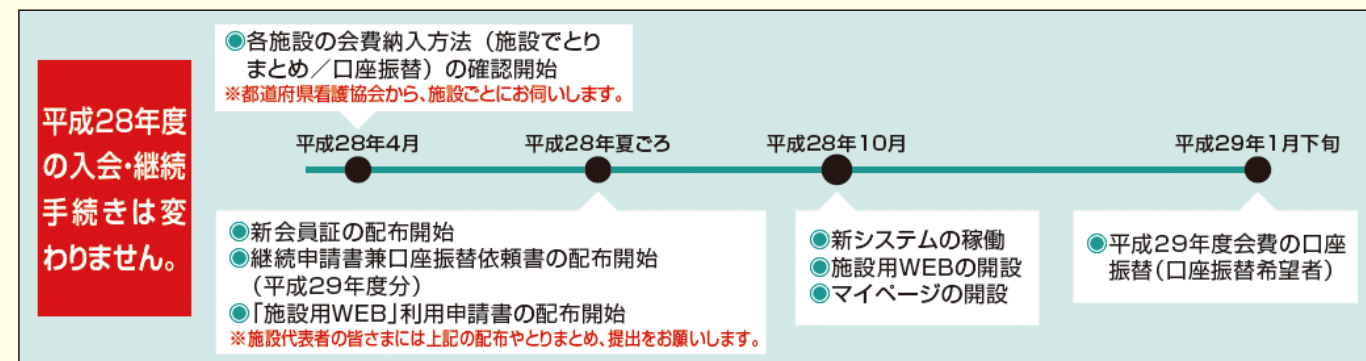
- 引き続き、施設でのとりまとめにご協力ください**
 - ・新しい入会・継続の手続きでも施設で入会申込書などを取りまとめていただく仕組みは変わりません。

②会費納入、施設用WEBについて

- 会費納入方法は施設ごとに選択**
 - ・会費の納入方法(施設でとりまとめ/口座振替)は、施設ごとに選択していただけます。
 - ・「施設でとりまとめ」を選択していただいた場合、振込先は従来の滋賀県看護協会の口座への振込から、施設毎専用口座に変更になります。
- 「施設用WEB」を導入**
 - ・会員代表者の皆さまは、「施設用WEB」で所属会員の入会手続きや会費納入状況を確認できるようになります。



■今後のスケジュール



平成27年度 看護職のワーク・ライフ・バランス推進 フォローアップワークショップを開催しました

開催日：平成28年1月21日 / 会場：滋賀県看護研修センター / ワークショップ参加者数：119名(参加6施設)

●アンケート担当：労働環境改善委員会 ●写真提供：滋賀県ナースセンター



1年目施設のアンケートより

Q WLB推進委員会の構成メンバーと参加して良かった点、変化した点

- A 事務2名、看護師3名、ケアワーカー2名、リハビリスタッフ2名でWLB推進委員会を立ち上げた。看護部で取り組んだことを、全職員に拡大していくことができた。今後の課題は職員全体のモチベーションを上げていくこと。(今津病院)
- A 看護部内にWLB推進委員会を立ち上げ、定期的で開催できた。ワークショップに参加して専門家からのアドバイスがもらえ、方向性が見えてきたことが良かった。インデックス調査では院長、事務長、看護部が当院の課題を共通理解できた。今後は病院全体で取り組んでいく。(近江温泉病院)



2年目施設のアンケートより

Qアクションプランの進捗状況を教えてください

- A 25～29歳アクアマリン研修、制度の周知、ラダー教育業務調整の4本柱で取り組み計画通りに進めている。(高島市民病院)
- A 制度(介護育児等)の周知60%、子育て支援50%、看護師確保60%(近江八幡市立総合医療センター)

Q WLB推進を振り返り発見できたこと

- A WLBと費用対効果を結びつけて考えることができた。また、病院の広報活動にもつながった。(高島市民病院)
- A 組織としてWLB活動に協力的であるということを発見した。スタッフの声を聞くことで全体把握ができた。(近江八幡市立総合医療センター)

Q WLB推進を振り返り楽しかったこと

- A きっかけを与えることでスタッフが主体的に取り組めたこと(高島市民病院)
- A 話し合うことで色々な考え方や意見を通して学びとなった。(近江八幡市立総合医療センター)



Q WLB推進を振り返り難しかったこと

- A お互い様の意識、協働の意識が持てる環境作りの難しさを感じた。(高島市民病院)
- A 組織として末端までへの周知徹底の難しさ(近江八幡市立総合医療センター)



Q良かった点、変化した点

- A ポスター展示を取り入れたことで、患者や家族に情報を発信する機会となった。良い評価が看護師の達成感となり、仕事に対するモチベーションに影響を与えた。制度の周知度が上がり利用者が増えた。(高島市民病院)
- A 実践活動が活発にでき、チームワークとして成長できた。やらされ感→やりたい感への変化(近江八幡市立総合医療センター)

3年目施設のアンケートより

Q3年目後のゴール達成はどの程度でしたか

- A 将来に不安がある人60%、職員を大切に組織であると思える人50%、長く務めたいと思える人60%と数値目標を掲げたが、大きな変化を得ることは出来なかった。(友仁山崎病院)
- A 3年間で大きな数字の変化はなかったが、色々な視点からの取り組みが出来た。その取り組みが病院全体のものになったことが第一の成果であった。(ヴォーリス記念病院)



Q今後取り組まれる施設へのアドバイス

- A 質の高い看護を提供すること、働き甲斐のある職場作りは少なからず相関関係にあると思う。自施設の問題を感覚で図るのではなく、インデックス調査により目に見えた形で結果を残せることで、WLB推進活動をスタッフへ周知することが出来ると感じた。(友仁山崎病院)
- A 自施設の状況(課題・出来ていること)を可視化し把握でき具体的な改善に繋がることが出来た。継続することで、働き甲斐向上と病院の質向上に繋がると思っている。(ヴォーリス記念病院)



Q残った課題に対してどのように取り組んでいこうと思われましたか

- A 働きやすい環境づくりは結果を得やすいが、働き甲斐のある職場作りは個人の内なる問題もあり、なかなか結果に繋がらないという課題がある。病院全体で取り組むことで職場の質を上げていく。(友仁山崎病院)
- A 経営計画の周知への取り組みと健康推進への取り組みを継続し、あらたに35歳以下の全職員へ焦点を当てたヒアリングを実施し、長く働き続けられる環境整備に取り組む。(ヴォーリス記念病院)

『多様な勤務形態』
(湖東記念病院)

『働き続けられる職場環境づくり』
(滋賀八幡病院)

について好事例の発表をさせていただきました!



新人さんを迎えて、新鮮で賑やかで活気にあふれていると思います。

現在、滋賀県の地域医療構想が策定されつつあります。それは、滋賀県保健医療計画とレイカディア滋賀高齢者福祉プランに反映されていきます。その実現のために、地域医療介護総合確保基金が使途されていきます。看護協会としても基金の確保をし、地域ニーズに応じた事業を展開していきます。

特定行為看護師研修制度は、滋賀医大で6月から開講され専門性の高い看護職が誕生していきます。ナースセンターへの届け出制度の成果も今年度数値で見えてきます。現場の期待に添えるようナースセンターも鋭意努力します。会員の皆様のご理解ご協力をお願いします。

次に、診療報酬改定の重点として「地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化・連携」挙げられ、『重症度、医療・看護必要度』は新たにC項目が追加され、重症度の割合も25%に引き上げられました。

一方、医療従事者の負担軽減に関連して夜間看護体制の充実や退院支援加算、認知症ケア加算が新設され、現場の努力が評価される形となりました。

時代の変化に創造的にチャレンジする看護協会として、ピンチをチャンスに捉えて、進めてきた成果とも言えます。今年も、たおやかに、まっすぐに進んで行きたいと思えます。

滋賀県看護協会では、6月11日の総会に向かって重点方針、重点事業案を策定しました。平成27年度事業を踏襲し、柔軟に創造的に強化していきます。

最後にお知らせとお願いがあります。平成29年度から入会・継続手続きが変更されます。会員証をプラスチックにして永年化、スマホで確認できる電子会員証、継続手続きの簡略化、マイページを開設してご自分の会員情報が確認可能などサービスを充実させます。平成28年から、新しい手続きを始めますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

●E-mail: kaicho@shiga-kango.jp
ご意見を本当にお待ちしています。



雪解けて春一輪をつくばいに



残雪の裏山に來し春の息吹

助産師職能委員会

会員のみなさんこんにちは!

私たち助産師職能委員会は、全ての妊産婦と新生児に助産師のケアを提供するために、助産師の実践能力強化を図ることを目標に活動しています。

平成25年度のデータでは、滋賀県の出生率は沖縄に次いで全国2位です。その約70%がクリニックで出産されているという特徴があります。このような妊産婦

さんの背景から、安心して安全な分娩と新生児への助産ケアを提供するために、分娩を取り扱う医療機関が役割分担・連携しながら周産期管理を行うことが望まれます。そのためにも、昨年からはまりましたクリニカルラダーレベルⅢ認証申請のための支援、および助産師出向事業の推進に取り組んでいきます。

また近年、すべての子どもが健やかに育つ社会をめざすために、地域母子保健における助産師の期待も高まっています。そのためにも、県下で就業する助産師の情報交換や交流、研修支援など、専門性を発揮できるように活動を続けていきたいと思えます。

会員の皆さまにおかれましても、身近な話題やご意見・要望などありましたら、お気軽に声をかけてください。



妊婦さんを乗せる“ゆりかごタクシー”実務研修のようす

第7地区支部

第1地区支部

第7地区支部では、「地域の特性を活かした保健、看護、介護のネットワークの充実を図る」を目的に年2回事例検討会を行っています。

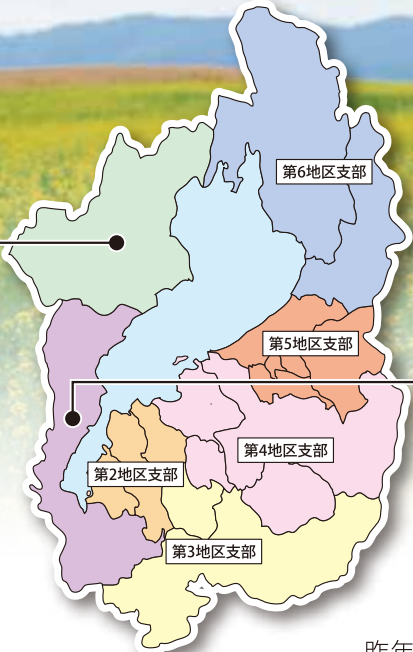
●第1回／平成27年10月1日(木)

[参加者85名]
事例提供 ・疼痛コントロールに対して不安のある患者の看護
・先が見えるように見えないターミナル患者の家族へのかかわり方

●第2回／平成27年12月2日(水)

[参加者80名]
事例提供 ・突然、がん末期と告知された患者の在宅看取りへの連携
・医療療養棟でのがん患者の退院調整において、家族の拒否が強く退院できなかった事例

会員数が246名と最も少ない支部ですが、事例検討会を重ねるごとに参加者数が増加し、今年度は実に会員の1/3の参加となりました。グループワークでは、他施設同士の意見交換や情報交換を行うことで、顔の見える関係づくりはもちろんのこと、施設単位ではなく地域で住民の方を支えていくという意識が高まってきました。また、今年度よりアドバイザーに入って頂いたことにより、より充実した検討会となりました。会員からは「MSWやPT、OTなど多種職とも話し合いができた」との希望があり、今後検討していきたいと考えています。



大津圏域における75歳以上の人口は、2025年に1.7倍、2030年まで増え続けるという推計があります。(2016.2.6看護師交流会資料より)

在宅医療を支える看護職の役割は大きく、昨年は、『地域包括ケアを推進していくために看護師としての役割』について、概念の共有化を図るための研修を行いました。さらに、今年度は、ひとりひとりの看護職が地域包括ケアに関する知識を深めるために、6/27に退院調整看護師(専門看護師)白石知子氏からご講義を頂きました。9/26は大津赤十字志賀病院と大津市民病院から事例発表を行い、施設と地域をつなぐ看護の重要性について学びを深めました。

参加者からは、改めて学ぶことが多く、今後に活かしていけるなどの好評を得ることができました。



平成27年9月26日(土) 事例発表会 《テーマ》 地域包括ケアを推進...看護師の役割

また、8年間続いている出前講座「スペシャリストに学ぶ」は、認定看護師さんの専門的知識をフルに活用できる機会となっています。出前を依頼する施設側の傾向として慢性心不全看護、摂食嚥下障害看護、認知症看護や慢性呼吸不全看護など、超高齢化社会を反映した社会のニーズに沿った内容に変化しています。



平成27年11月17日(火) 出前講座 『スペシャリストに学ぶ』 慢性呼吸器疾患看護認定看護師
●佐野 寛恵氏 (成人病センター)
●上田 博臣氏 (小児医療保健センター)

次年度は、さらに社会の要請に応えられるように環境づくりをし、活発な活動を推進していきたいと思っています。皆様のご協力とご支援を賜ります様よろしくお願いたします。

医療安全通信

採血時の検体容器間違い事例

- ①リーダー看護師は、患者Aの採血管2本と患者Bの採血管3本を準備し、一つのトレイに入れた。
- ②患者Aの受け持ち看護師は、採血を行う際、トレイ内の採血管5本中、2本の氏名が患者Aであることを確認したが、残りの3本の氏名を確認しなかった。
- ③患者Aから5本全て採血して検査部に提出した。
- ④患者Bの受け持ち看護師は、患者Bの採血管がなかったため準備し、採血後に検査部に提出した。検査部より、既に患者Bの検体が提出されていると指摘された。

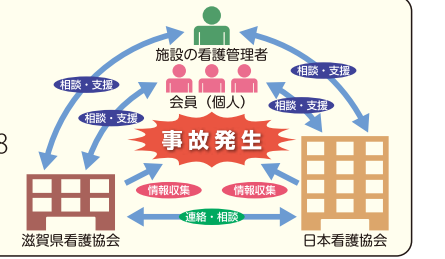


★確認しましょう……………患者氏名、検査指示内容、検体容器
★守りましょう……………1患者・1トレイ

お知らせ 平成28年度 医療安全管理者養成研修 (eラーニング&集合研修) を開催します!
●開催日:平成28年7月1日(金)~平成28年10月31日(月)
●申込期間:平成28年5月2日(月)~5月20日(金)
※詳細は、「平成28年度 教育計画」冊子を確認してください。

医療安全相談窓口

- 受付時間:9時30分~16時(平日のみ)
- 場 所:滋賀県看護研修センター内 TEL.077-564-6468 / FAX.077-562-8998
- 担 当:看護協会長・常務理事・医療安全推進委員(適宜)
- 方 法:電話相談・来訪相談・FAX相談



お知らせ

第47回 日本看護学会 -看護教育- 学術集会

●とき:平成28年8月4日(木)・5日(金) ●ところ:びわ湖大津プリンスホテル(滋賀県大津市)
湖国滋賀から発信! 「未来をひらく看護教育」

全国から看護教育に関する230近い演題が寄せられ、標記学術集会を滋賀県で開催いたします。この機会にぜひご参加くださいますようお願いいたします。

なお、事前参加登録は、4月22日(金)~6月23日(木)の期間内に日本看護協会のホームページから行うことになっております。詳しくはホームページをご参照ください。(日本看護協会→生涯学習支援→日本看護学会→学術集会に参加する)

- 8月4日(木)
- 基調講演 「未来をひらく看護教育」
 - 特別講演 「変革する次代を担う次世代専門職を育てる」
 - シンポジウムI 「地域包括ケアシステム時代の人材育成」
 - 交流集会I 「育てる側・育てられる側の双方向から臨地実習を考える」
 - ランチョンセミナー

- 8月5日(金)
- 交流集会II 「今まさに求められる医療安全教育 ~基礎教育から特定行為研修まで~」
 - 交流集会III 「新卒から育てる訪問看護師」
 - シンポジウムII 「看護師のクリニカルリーダー(日本看護協会版)を用いた看護実践能力育成の可能性」
 - ランチョンセミナー

ナースセンターだより



『看護フェア2016』を開催します

今年度は、「健康と運動」を中心に企画しました。
たくさんの方ご参加をお待ちしています。是非、お越し下さい!!



看護フェア2016
-看護の心を、みんなの心に-

5月12日は看護の日

日時 **5月8日(日)**
11:00~15:00
(お昼は14:00まで)

会場 **ピエリ守山**
2F ビエリホール(A・B・C)
〒224-0101 滋賀県守山市今井町2620-5
TEL:077-564-1000

参加無料

開場 13:45
さあ始めよう!
健康なからだづくり
14:00~15:00
滋賀大学
スポーツ健康科学部 健康科学
スポーツ健康科学部 学部長
田畑 康氏

各種コーナー

- タニタの検力チェック
- ナースに褒め
- 心臓マッサージ AED体験
- 災害用品の展示
- 看護職お仕事・進学相談
- がん関連相談
- 健康に関する相談
- プレママ・ママ相談

主催/滋賀県・公益社団法人滋賀県看護協会
後援/一般社団法人滋賀県薬剤師会・一般社団法人滋賀県歯科医師会・一般社団法人滋賀県病院協会・
一般社団法人滋賀県理学療法士会・一般社団法人滋賀県社会福祉協議会・守山市
社団法人滋賀県看護学校協議会・日本精神看護技術協会 滋賀県支部
協賛/滋賀県看護学校協議会 〒250-0032 草津市大宮二丁目11番51号 TEL:(077)564-9494

『就職フェア2015 in しが』

平成28年1月28日(木)クサツエストピアホテルにて就職フェア2015を開催しました。

今年度は、求人66施設(病院36施設と訪問看護ステーションや介護福祉施設・医院等30施設)が一同に集り、98名の求職者の参加がありました。1人でも多くの看護職の方が看護の力を発揮して下さることを願っています。



開催しました

『看護の魅力配達事業』

今年度は、県内高校22校536名に看護の魅力を届けました。

高校に伺い、看護職から病院や訪問看護ステーションでの勤務の体験談や看護職のキャリア形成、看護専門学校や看護系大学での学生生活について伝えることが出来ました。少しでも看護職に対して魅力を感じ、看護の道に進んでくれることを願っています。



平成28年度 リスタートナースサポート研修のご案内

ナースセンターでは、未就業で就職を希望されている看護職の方に少しでも不安なく医療施設・訪問看護ステーション・介護福祉施設への再就職をしていただけるような研修を予定しています。



- 開催予定時期と会場
- 5月開催予定……草津看護研修センター
- 9月開催予定……彦根くすのきセンター



上記以外にも予定しています。詳細が決まりましたら滋賀県看護協会ホームページに掲載いたします。



お問合せ先 **滋賀県ナースセンター**
TEL:077-564-9494/FAX:077-562-8998/E-mail:shiga@nurse-center.net

SHIGA!
はたさぽ通信

「今年もおまかせ下さい」

就業コーディネーター/西川久美子

冬の寒さを乗り越えた木々が、花を満開に咲かせています。日本の春は、やはり「さくら」がぴったりです。やわらかい花の色と香りが出発する人を応援してくれるように思います。

平成24年に「出張就職相談窓口」が開設され5年目となりました。これまでに、看護学校をめざす方・子育て真っ盛りの方・潜在期間のある方など多くの皆様とお出会いし、進学へのご支援や就業相談に向き合いました。また就業支援研修会においては、学びを重ねていくことで「看護」を意識し就業へと進まれる状況も見せて頂きました。その過程をサポートさせて頂き相談員としての喜びに繋がっています。近隣県においても、就業相談や復職支援研修会等実施されています。当県は、8箇所の出張相談窓口において、開催場所や回数を年々増やし4年間で

来所者が313名(2月末)、復職支援研修も4年間で131名の方が受講されました。今年度は、さらに復職支援研修「リスタートナースサポート研修」の開催予定日を早めに告示、さらに受講しやすく期間や時間を変更し開催します。今年も、相談・研修会ともに頑張ります。

『ナースセンター』は身近にあります。「はたらくをサポート」します。どうぞ、お気軽に相談にお越し下さい。また、『看護の現場を離れても、看護師のわたしを忘れない』ために、ナースセンターへ届け出てください。

